



映画 福島 六ヶ所 未来への伝言

高木基金中間報告会



- \* 福島第1原発から20キロ圏内は立ち入り禁止となっている。国道6号線の楢葉町で。



- \* 4月29日、飯館村に東電副社長以下5人が謝罪におとずれた。村民が次々と意見や不満をぶつけた。



- \* 飯館村の高校生の女の子は、将来自分が子供を産めなくなったら補償をしてくれるのか、と問いかけた。



- \* 飯館村での謝罪集会が終わっても、「この苦しみがあなたたちにわかりますか」と、東電社員たちに詰め寄る村民。



- \* 飯館村で畜産をやっていた山田剛史さん。妻と息子夫婦を避難させ、自分だけ村に残り、牛の世話をしていた。(2001年5月)



\* 郡山市に住む伊藤智恵子さん。6歳と1歳半の子供のお母さん。  
夏休みを利用して、母子だけで長野県松本市に保養に来た。



\* 智恵さんの娘の小学校1年生の咲良ちゃん。  
2学期が始まり、外で思いっきり遊んだ松本から郡山へ帰ってきた。



\* 「子どもの声を政府に届けよう！」と、福島の子どもたちが、寄せ書き  
を持ってやってきた。衆議院議員会館で政府側と交渉した。



\* 青森県六ヶ所村の、六ヶ所原燃PRセンターから見た核燃料サイクル  
基地の再処理工場。



\* 六ヶ所村反対運動を続けてこられた菊川慶子さん。  
19年間開催してきたチューリップ祭りは、今年で最後になった。



\* 青森県蓬田村の松本淳司さん(手前)。かつて、農協青年部の委員長として  
反対運動の先頭に立ってきた。福島事故に大ショックを受けたという。



\* 青森県の生協での勉強会で、原発の危険性をちゃんと知らなかったと話すお母さん。



\* 青森県弘前市の「放射能から子どもを守る母親の会」は、チェルノブイリ後から、核燃に反対してデモをし、今年6月で250回目を迎えた。



\* 大間原発に反対して土地を売らなかった故熊谷あさこさんの娘の小笠原あつ子さん。残念だけど福島後も、大間は変わらない、と言う。



\* かつて六ヶ所村八森地区で酪農を営んでいた佐々木敏さん。「六ヶ所から原子力を取ったら、果たしてやっていけるのか」



\* 9月15日、イギリスからの返還高レベル放射性廃棄物が六ヶ所村に陸揚げされた。原発は止まっても、核のゴミは運び込まれる。



\* 9月11日、経産省を人間の鎖で取り囲んだ。9月19日は5万人集会が明治公園で行われるなど、全国で脱原発の動きは活発だ。